

医療費後払いサービス始めました！

医事企画課

お会計を待たずにすぐに帰られます！



兵庫県立こども病院では、**診察後、会計計算を待たずにそのまま帰宅できる医療費後払いサービス**を始めました。

後払いサービス専用端末で後払い手続きを行っていただいた患者様は、診察後、総合受付の後払窓口に「外来ファイル」をご提出いただくだけで、会計計算を待たずにお帰りいただけます。

当サービスのご利用には、まず、スマホに病院外来アプリ「スマパ(Sma-pa)」をインストールいただくか専用端末に診察券をスキャンいただき、お支払いを希望されるクレジットカードをご登録（初回のみ）ください。

その上で、ご来院時に専用端末の画面上「後払い受付」を選択いただくと、ご来院日の医療費は後払いサービスにより決済されます。

なお診療費は、受診当日の21時以降に登録アドレスに通知が届き、領収書は専用端末でプリントアウトが可能なほか、パソコンやアプリから領収書・明細書の確認ができます。

診察後、待たずに帰れる医療費後払いサービスを是非ご利用ください。



アプリのダウンロードはこちらから



Concept コンセプト

●**基本理念** 周産期・小児医療の総合施設として、母とこどもの高度専門医療を通じて、親と地域社会と一体になってこどもたちの健やかな成長を目指します。

- 基本方針**
1. 患者の権利を尊重した医療の実践
 2. 安全・安心と信頼の医療の遂行
 3. 高度に専門化されたチーム医療の推進
 4. 地域の医療・保健・福祉・教育機関との連携
 5. 親とこどもが一体となった治療の推進
 6. こどもへの愛とまことに満ちた医療人の育成
 7. 医療ボランティアとの協調による患者サービスの向上
 8. 継続的な高度専門医療提供のための経営の効率化



編集後記

いつもげんきカエルをご覧いただきありがとうございます。先日、とある連携医療機関から本誌の記事に関してお褒めの言葉を頂戴し、委員一同たいへん励みになりました。今後も手に取ってくださる患者さんと連携医療機関にお役に立てるよう、精いっぱい努めます。本誌に関するご感想、ご要望など、どしどしお寄せください。(K.H.)

委員 長：貝藤裕史
副委員 長：大津雅秀 田原エリカ
委員 員：深江登志子 細見能文
林卓郎 井谷洋美
藤田真理子 新井良子
藤原健太 中村直子
笹倉明子 時克志
岡田瑞希 井上徹
永安正典 東川果央

兵庫県立こども病院
HYOGO PREFECTURAL
KOBE
CHILDREN'S
HOSPITAL

〒650-0047
神戸市中央区港島南町1丁目6-7
TEL.078-945-7300
FAX.078-302-1023
https://www.hyogo-kodomo-hosp.com/
e-mail:info_kch@hp.pref.hyogo.jp

05病P2-003A4

本誌に関するご感想・ご希望・ご質問はこちらまで



げんき No.82 カエル

兵庫県立こども病院
ニュースレター



令和5年(2023) 7月20日

新任幹部職員のご案内



■検査部長 杉多 良文 (泌尿器科部長)

検査部長を拝命しました杉多です。各種の臨床検査は良質な医療を行うために必要不可欠です。当院検査部はISO15189を取得しており、国際的に評価された技術能力を有しております。患者さんのご健康とご家族の幸福のために、これからも万全を期し、診療を支援して参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



■感染対策部長 笠井 正志 (感染症内科部長)

感染症対策は、院内全ての部署が関係し、かつ病原体別対策、疾患別対策、抗菌薬適正使用、消毒・滅菌、予防接種、等多岐に渡ります。そのため当院では感染管理の専門職（看護師、検査技師、薬剤師、医師）で構成された感染制御チーム（ICT）を組織しています。私たちは医学的根拠（エビデンス）と患者さんの快適さ（アメニティ）とのバランスを重視し、合理的な感染対策の実践、継続的な改善を行います。御指導のほどよろしくお願い致します。



■薬剤部長 石田 達彦

4月から薬剤部長に着任いたしました。こども病院は4年ぶり2回目の勤務となります。以前勤務した際には、小児の薬物治療に戸惑い苦労しながら多くの方々にご指導いただきました。今後は、病棟業務を中心にチーム医療をとおして小児医療に貢献していく所存ですので、どうぞよろしくお願い致します。

「のびしろしかないわ」



彩香の母

「のびしろしかないわ」といえばCreepy Nutsの“のびしろ”の歌詞ですよね。「もっと覚たい事が山のようにある…のびしろしかないわ。」ってところがとってもいい。

15年間お世話になったOTの先生から「30歳までは脳は成長しますよ」って教えていただきました。娘の彩香は現在18歳。30歳までのびるならまだまだ時間はあります。

彩香は、50万人に1人の難病を持って生まれてきました。医療的ケアあり、知的障害あり、肢体不自由ありのいわゆる“重度障害児”です。医療的ケアは気管切開をしていて、知力は幼稚園児くらい、身体も自由には動かせません。

これまでいろいろ練習してきて、「できる」ようになったことも「できない」こともたくさんあります。小学校低学年くらいまでは、痰が多くて20分に1回くらい気管内吸引が必要な時がありました。大きくなるにつれて、自己排痰が「できる」ようになり、吸引回数が減って一気に活動がしやすくなりました。知的障害と肢体不自由がある為、自分でいろいろなことができるようになるのには健常児の何倍も時間がかかります。何歳で何ができるようにになるとか、育児本は何の参考にもなりません。

最初は、「できない」ことばかりを考えていました。「見えない?」「聞こえない?」「話せない?」できるようにはならないかも…。見えていました!視力は0.2くらいですが見えています。聞こえていました!聴力は70dBくらい大きくしないと聞こえないが補聴器をつければ大丈夫。話せています!気管切開をしています。なんか大きな声が出ます。

いつしか「できる」ことを探せるようになりました。

こども病院の病棟でも、「座る練習」「立つ練習」「トイレトレーニング」といろんなことをやってきました。病棟の看護師さんたちも一緒になって練習を手伝っていただきました。お忙しいのに本当に有難いことです。がんばって練習しても、呼吸状態が悪くなり、お薬で鎮静して手術室へ。病室に戻ってきて元気になったらまた練習するのですが、リセットされてしまうことも多々あり、心が折れそうになることもありました。でも、がんばってみました。私が。いえ、彩香が。

今は、座って、立って、歩いて、トイレにも行けるようになっていました。他にも「できない」と思っていたことが、リハビリや学校で教えてもらうことでゆっくりですが確実に「できる」ようになっていました。

いつ「できる」ようになってもいい。ゆっくり「できる」ようになればいい。たくさんの人に教えてもらって、これからもどんどん成長してほしいです。これこそ「のびしろしかないわ」です。今後も彩香の成長に皆様のお力添えの程よろしくお祈いします。



鼻出血について



耳鼻咽喉科 赤澤 亜由

お子さんが突然鼻血を出して慌てた経験はありませんか? 我が家でもつい先日、風邪で鼻水ズビズビだった1歳の子どもが、突然昼寝から泣いて起きてきたと思ったら、血混じりの鼻水を垂れ流して布団にポタポタと赤い斑点をつけているところでした。

今回は、小児の鼻出血の特徴とその対応についてお話ししたいと思います。

小児の鼻出血は5歳までに約30%が経験すると言われ、頻度の多い疾患です。好発年齢は3歳から8歳とされ、反復例が多いものの、多くは基礎疾患を有しない特発性鼻出血です。

鼻の入り口から約1cm後方の鼻のしきり(鼻中隔)はキーゼルバツ八部位と呼ばれ、鼻腔内で最も血管が密に吻合して血流に富んだ部位で、物理的刺激で容易に血管破綻を生じやすく、小児の鼻出血の90%以上はキーゼルバツ八部位からの出血と言われます。

小児の鼻出血で最も多い原因は鼻いじりによる機械的な刺激です。キーゼルバツ八部位は小児の指でもすぐ届く場所にあるため、鼻いじりで鼻粘膜を擦過すると出血に繋がります。出血部位にかさぶたが付着すると違和感や鼻づまりを生じ、再び鼻いじりをして鼻出血を繰り返してしまいます。

また、アレルギー性鼻炎や鼻副鼻腔炎などがあると、鼻粘膜の血管が増加し、鼻水や鼻づまりで鼻をかむことが多くなったり、不快感で鼻いじりも増え、鼻出血を起こしやすくなります。

鼻出血の原因が全身疾患であることは少ないですが、鼻出血が出血性素因を有する疾患の初期症状である可能性もあるので、出血傾向が疑われた場合は血液疾患や肝疾患等の全身疾患がないか精査を行う場合があります。

お子さんの鼻血を見るとつい慌ててしまいがちだと思いますが、小児の鼻出血はほとんどが

圧迫止血で止血可能です。

鼻出血を来した場合、お子さんに前傾姿勢をとらせ、のどに流れた血液を吐き出すように促し、柔らかい小鼻(鼻翼)を親指と人差し指でしっかりつまみ10分ほど圧迫止血します(鼻翼圧迫止血法)。ティッシュなどは繊維で鼻粘膜を傷つける恐れがあるので何も入れずに指でつまんで圧迫してください。ただ単にティッシュを鼻に詰めるだけや鼻の硬いところ(鼻骨)を押さえても圧迫は出来ません。鼻翼圧迫をしても30分以上出血が続くような場合は止血処置が必要になることもあるので医療機関へのご相談をお勧めします。

再出血の予防も大切です。鼻いじりを注意し、また鼻いじりの原因がアレルギー性鼻炎や鼻副鼻腔炎から来ていることも多いため、原疾患の治療を行います。

止血後1週間は水泳、激しい運動、強い鼻かみ、入浴(ぬるめのシャワー程度は可)は避けてください。

なお、筆者は幼稚園時代の夏休みのある日、大好きだった棒状のビスケットにチョコレートがコーティングされた某有名菓子を大量に食べた後に遊びに行った園庭のプールで突然鼻出血を来したことがあり、幼心にショッキングでしばらくはチョコレートが食べられなくなったことを今でも覚えています。チョコレートの摂取と鼻出血には医学的には因果関係は証明されていません。

話は脱線しましたが、鼻出血を来したときには…

- ① まずは正しい鼻翼圧迫止血を行うようにしましょう。
- ② 繰り返す場合はアレルギー性鼻炎などの素因が隠れていないか、医師へお気軽にご相談ください。

